

第三報 俺たちは鉄路に生きる 《1987.12.13～19～20》のバジ10名

関西地区上映会大盛況！

日刊 労働千葉

1988.1.11

No. 2736

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

全国各地で、俺たちは鉄路に生きる第三報の上映運動が大成功をおさめています。今号では、昨年末にあいついで開催された関西三地区の上映会の報告がよせられましたので紹介します。



12・19 大阪東・南部上映会



12・13 北大阪上映会

上映会は、十二月十三日、大阪・吹田市の吹田市民会館で開催され、国鉄労働者を先頭に、教労自治労、全通、民間労働者、ピラや広告などを見て駆けつけた市民などが八十五名結集して大成功をおさめました。

映画上映にあたって、上映実行委員会は連日、北大阪一帯を三万枚のピラでうめつくす宣伝をやりました。

映画集会は、全労連発足への労働者の怒りを結集して、戦闘的労働運動の出発点をつくりだした。

十二月十九日、大阪市労働会館で上映会が一五二名の労働者、市民の結集をえて、闘いへの燃えるような熱気の中で行われた。

四月一日、分割民営化強行過程で三月三十一日労働者がああ憎むべき人活センター看板を燃やす場面は圧巻である。労働者一人の首切りも許さない、組合として労働者の権利を国家権力の弾圧をものともせず闘いぬく姿に会場からわれんばかりの拍手が送られた。



12・20 阪神地区上映会

十二月二十日、阪神地区の労働者街のど真中、尼崎労働福祉会館で「第三報」の上映会がはじめる。参加者も多数加え七五名の結集で大成功をおさめた。

二時間近い映画そのものが労働運動の教科書そのものであり、今日の全労連の虚妄をあげき、プロレタリアートの魂の何たるかを語る。労働運動の勝利の戦略的方向性・戦術を七五〇の団結の生きた姿そのものとして力強く提起する。闘いのナレーションの中、出発していく快速電車のラストシーンには会場全体が感動の拍手でこたえた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

16団結旗ひらきへ
13日講演会
14日半アタリ